

ふんね

やまざと

VOL.59

[9月定例議会号]
令和2年11月15日

題字揮毫者: 大里耕守氏



「南関町金型金属加工企業連絡協議会」のみなさん 『生の声を聴く』コーナー(14頁)に登場

- 会員数：12社
- 主な活動：誘致企業同士の交流の場として設立。6社1グループからスタートしました。会員同士の交流会（球技大会）の開催をはじめ、企業懇親会への参加、相互の企業訪問などで互いの交流を深めています。地域貢献として、協議会から町内の祭りへ協賛をしています。

なんかんのギカイ

南関町議会の内容を分かりやすくお伝えします。

この議案が可決されました。

1 豪雨による災害対策支援を専決処分

※専決処分……地方公共団体の長が地方自治法の規定に基づいて、議会の議決・決定の前に自ら処理すること

<p>〈議案第52号〉 令和2年度南関町一般会計補正予算(第3号)</p>	<p>歳入歳出それぞれ153,159千円の追加する。令和2年7月20日専決。主に災害対策処理費用。</p>	<p>全会一致承認</p>
---------------------------------------	---	---------------

- 災害廃棄物処理業務委託料：4,432 万円
- 林業施設災害復旧費測量設計委託料：759 万円
- 浸水家屋消毒業務委託料：115 万円
- 河川等災害復旧費測量設計委託料：6,000 万円
- 災害見舞金：150 万円
- 宅地災害復旧費事業費補助金：300 万円
- 農地小災害復旧費補助金：400 万円
- 農地等災害復旧費測量設計委託料：2,000 万円



2 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金

<p>〈議案第65号〉 令和2年度南関町一般会計補正予算(第4号)</p>	<p>歳入歳出それぞれ699,069千円の追加する。主に新型コロナウイルス感染症対応、災害対策処理費用。</p>	<p>全会一致可決</p>
---------------------------------------	--	---------------

- 災公共施設安全衛生対策事業：269 万円
- 避難所衛生環境整備事業(段ボールベット、間仕切り、発電機等)：603 万円
- 避難所設備(ふれあい広場・B&G)の3密対策(空調設備等)：509 万円
- 避難所設備(交流センター・南町民センター)の3密対策(ペレットストーブ、畳等)：147 万円
- 避難所設備(うから館)の3密対策(トイレ、空調改修等)：4,000 万円
- 児童生徒の端末整備支援事業(タブレット1人1台)：5,166 万円
- 給食センター安全対策事業：1,885 万円



3 開示請求権が何人にも付与へ

<p>〈議案第55号〉 南関町情報公開条約の一部を改正する条例の制定について</p>	<p>情報公開の請求権を町内在住限定から「何人も、この条例の定めるところにより」と改め、何人も開示請求権を付与する。</p>		<p>全会一致可決</p>
--	--	--	---------------

4 令和元年度会計認定

<p>〈議案第57号〉 令和元年度南関町一般会計歳入歳出決算認定について 〈議案第58号〉 令和元年度南関町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 〈議案第59号〉 令和元年度南関町公共下水道事業特別会計決算認定について 〈議案第60号〉 令和元年度南関町簡易水道事業特別会計決算認定について 〈議案第61号〉 令和元年度南関町介護保険事業特別会計決算認定について 〈議案第62号〉 令和元年度南関町浄化槽整備推進事業特別決算認定について 〈議案第63号〉 令和元年度南関町後期高齢者医療特別会計決算認定について 〈議案第64号〉 令和元年度南関町宅地分譲特別会計決算認定について</p>		<p>全会一致認定</p>
--	--	---------------

町長提出議案・・・23件

議員提出議案・・・1件

令和2年度南関町会計補正予算

<p>〈議案第66号〉令和2年度南関町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について</p> <p>〈議案第67号〉令和2年度南関町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について</p> <p>〈議案第68号〉令和2年度南関町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)について</p> <p>〈議案第69号〉令和2年度南関町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第2号)について</p> <p>〈議案第70号〉令和2年度南関町後期高齢者医療会計補正予算(第1号)について</p>		全会一致 可決
<p>〈議案第53号〉公益的法人等への南関町職員の派遣等に関する条例の制定について</p>	法律(平成12年法律第50号)の規定に基づき、人的援助が必要と認められる公益的法人等へ職員を派遣する際の必要事項について、条例を制定する必要があるため。	全会一致 可決
<p>〈議案第71号〉字の区域の変更について</p>	高久野 前田、高久野 後田、長山 前畑の一部を変更。	全会一致 可決
<p>〈議案第72号〉物品売買契約の締結について</p>	小型動力消防ポンプ積載車4台の購入。 1,622万円。	 全会一致 可決
<p>〈議案第73号〉定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について</p>	認知症施策の広域的推進、中小企業の振興、環境保全活動の推進、地域公共交通の維持確保及び利用の推進。地域資源を生かした広域観光の推進、危機管理体制の強化、業務効率化の推進など一部変更および新設	全会一致 可決
<p>〈議案第74号〉南関町監査委員の選定について同意を求めることについて</p>	繁松哲也氏の再任	 全会一致 同意
<p>〈議員提出議案第1号〉新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書(案)</p>	陳情第2号	 全会一致 可決

町条例の一部を改正する条約

※国法令の改正に伴い、町条例の改正を行うもの

<p>〈議案第54号〉南関町手数料条例の一部を改正する条約の制定について</p> <p>〈議案第56号〉南関町防災関連地域防災がけ崩れ対策事業受益者負担金徴収条例の一部を改正する条約の制定について</p>		全会一致 可決
--	--	----------------

新型コロナウイルス感染防止対策

■ 発言中の飛沫感染対策として、透明ビニールシートに加え、「フェイスシールド」を装着して発言しました。



「フェイスシールド」は、F-WAVE 株式会社様より町に寄贈されたものを使用しました。

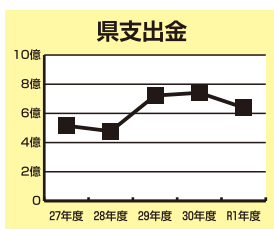
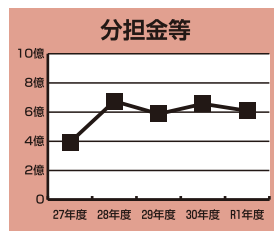
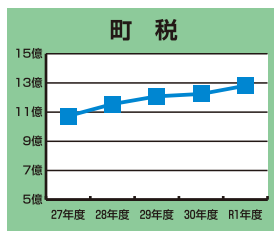
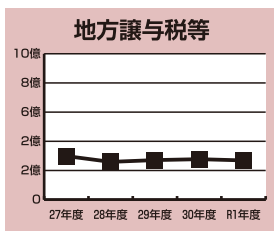
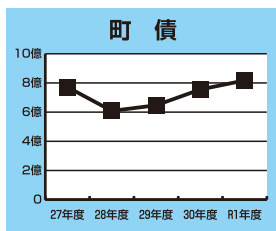




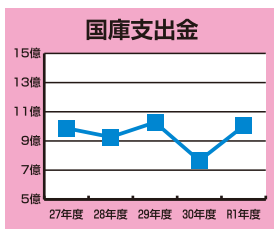
比べてみました!!

令和元年度決算編

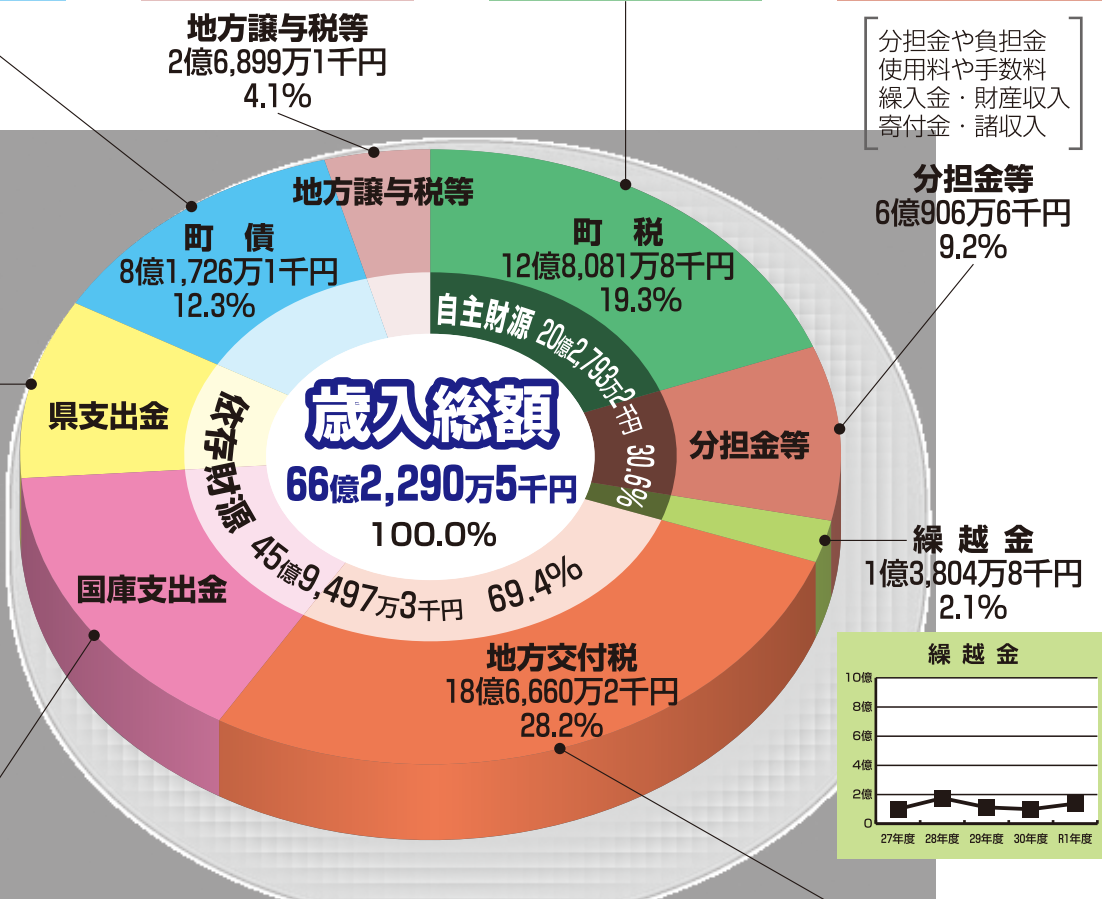
9月議会で、令和元年度南関町一般会計と各特別会計歳入歳出決算が可決されました。
平成27年度から5年間の決算額の動きを比べてみました。



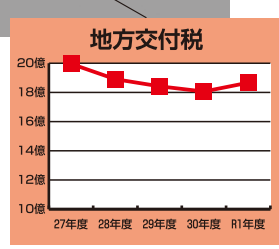
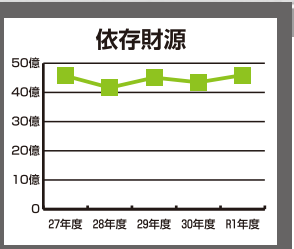
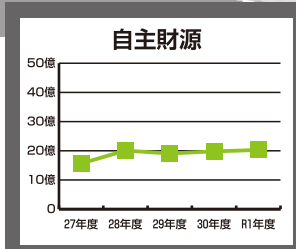
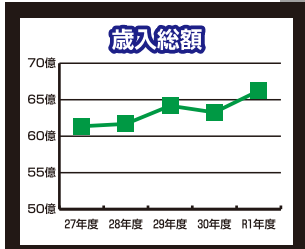
県支出金
6億3,929万1千円
9.7%



国庫支出金
10億282万8千円
15.1%



分担金や負担金
使用料や手数料
繰入金・財産収入
寄付金・諸収入



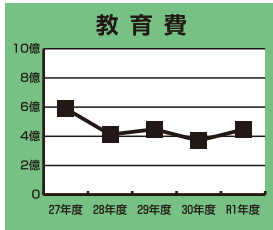
会計別	歳入	歳出	差引残高	一般会計繰入金
一般会計	66億2,290万5千円	64億8,074万4千円	1億4,216万1千円	0円
国民健康保険特別会計	14億2,791万9千円	13億7,463万8千円	5,328万1千円	1億2,719万円
公共下水道事業特別会計	1億6,088万4千円	1億6,081万6千円	6万8千円	1億1,483万1千円
簡易水道事業特別会計	423万7千円	423万7千円	0円	275万7千円
介護保険事業特別会計	14億1,968万5千円	13億6,724万4千円	5,244万1千円	2億2,858万7千円
浄化槽整備推進事業特別会計	1億530万6千円	1億530万6千円	0円	3,249万1千円
後期高齢者医療特別会計	1億3,953万1千円	1億2,875万円	78万1千円	4,803万9千円
宅地分譲事業特別会計	631万5千円	631万5千円	0	0
合計	98億7,678万2千円	96億2,805万円	2億4,873万2千円	5億5,389万5千円

基金残高の推移…町の貯金

	基金合計	財政調整基金	南関町ふるさとづくり基金	ふるさとなんかん応援基金 (ふるさと納税)
平成29年度	30億3,573万円	10億203万円	10億9,999万円	6,562万円
平成30年度	28億7,534万円	7億9,070万円	10億3,464万円	9,745万円
令和元年度	29億9,340万円	7億9,076万円	9億5,559万円	1億2,963万円

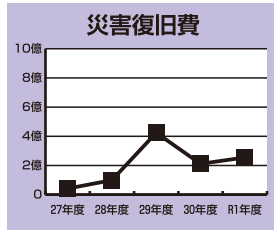
地方債残高の推移…町の借金

	一般会計 地方債残高合計
平成29年度	66億9,706万円
平成30年度	68億2,843万円
令和元年度	69億2,914万円



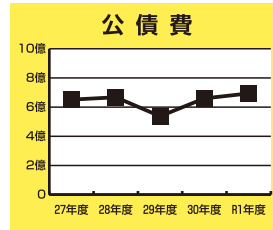
教育費

4億4,577万4千円
6.9%

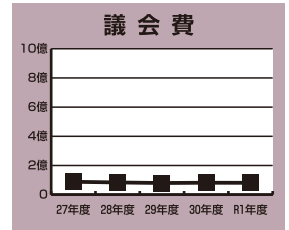


災害復旧費

2億6,507万9千円
4.1%

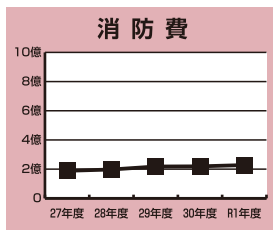


公債費



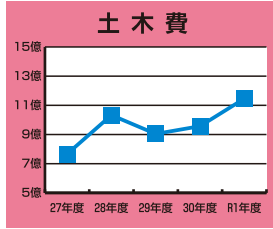
議会費

8,115万9千円
1.3%



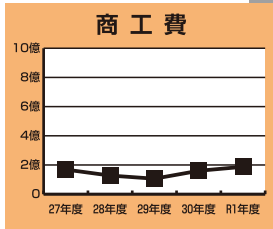
消防費

2億2,772万4千円
3.5%

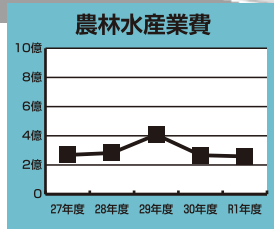


土木費

1億8,742万8千円
2.9%

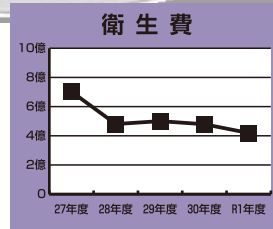


商工費



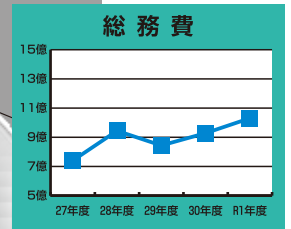
農林水産業費

2億5,870万円
4.0%

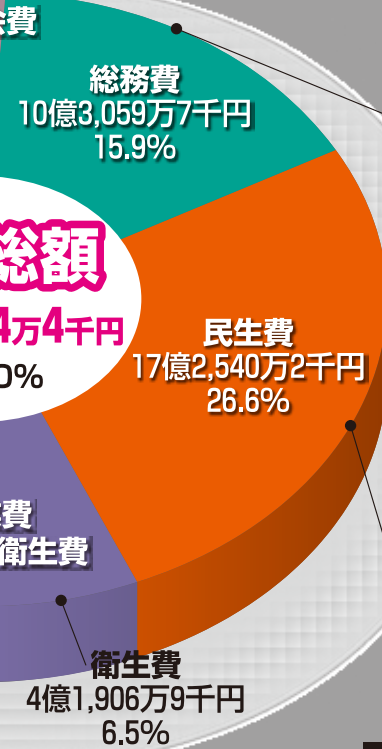


衛生費

4億1,906万9千円
6.5%



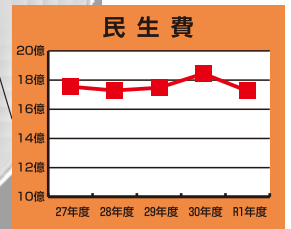
総務費



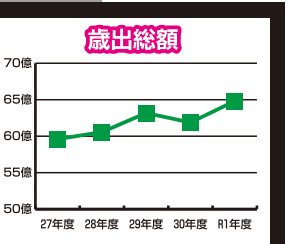
歳出総額

64億8,074万4千円

100.0%



民生費



歳出総額

財政諸指数の推移

	標準値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
実質収支比率※⑤	3~5%が望ましい	5.2%	2.8%	2.7%	3.8%	4.2%
経常収支比率※⑥	比率が高いほど財政構造の硬直化が進んでいる	90.7%	94.3%	93.3%	92.4%	91.9%
財政力指数※⑦	1に近いほど良好	0.37%	0.37%	0.38%	0.40%	0.41%
実質公債費比率	25%を越えると起債発行が制限される	8.4%	8.1%	8.0%	7.9%	8.1%

※⑤実質収支比率

実質収支の適否を判断する指標。

※⑥経常収支比率

一般財源のうち毎年経常的に支出される経費(人件費・公債費等)に充当されたものが占める割合。

※⑦財政力指数

財政力の豊かさを示す指数。



【一小校区】

(迎町・旭町線) 堀池園の道路幅が狭い為、外



堀池園

側線を引くか、片側にグリーンゾーンを設ける。または、可能な場所の拡張工場の必要がある。

(田町・下原線) 側溝の蓋の設置。(県道南関・大牟田北線) 白秋の森から先の歩道が途切れている為、歩道延長。(仲間線) セキア方面へ続く道路の幅が狭い為、外側線、又は待機場所の確保が必要。(関村・鍋川線) 仲間線との合流地点に横断歩道の設置。

【二小校区】

(大牟田・南関線) 琵琶瀬付近には歩道が無い為、設置もしくはグリーンラインが必要。また大牟田方面からの車両に対し



琵琶瀬付近

「スピード落とせ」のラインか標識の設置。

(荒尾・南関線) 長山の「ウチごはん seki」から荒尾方面へ歩道が途切れているので追加設置。また徳太橋にも歩道が必要。(尾田・高久野線) 第二小学校前付近には、外側線もしくはグリーンゾーンや「スクールゾーン」の明記や、良田建設付近の一部道路の拡張も必要。



【三小校区】

(国道443号) 森商店前の通学路には横断歩道が無い為、新設か移動が必要。菊南道路との交差点は、信号無視も多い為、朝の通学時間に警察官の指導(月に数回)を希望する。



菊南道路交差点

【四小校区】

(次郎丸・大場線) 徳永鮮魚店から大牟田植木線との交差点までは、道路幅が狭く見通しの悪い所もある為、外側線かグリーンラインが必要。(大牟田・植木線) 田原地区の歩道が途切れている為、早期の設置。

もやいの郷横の橋に手すりが付いていない為、雨天時には川の増水もあり落下の恐れがあるため、柵の設置。



田原地区歩道

【中学校】

(小原・上長田線) 毎年言われ続けていることだが、落ち葉などの堆積が多く自転車が滑りやすく危険である。また街路灯も少なく暗い。全般的な見直しが必要。



※いつも車で通り過ぎるだけで分からなかった事が、その場所を歩いてみて初めていろいろなことが分かった。子供は町の宝。その宝の安全・安心に努めるためにも、しっかりと町へ要望し、少しずつでも改善していきたいと思う。



7月6日から8日までに降った本町該当雨量は
総雨量 766mm
最大時間雨量 63mm
24 時間雨量 566mm。

被害状況は、被害報告受付期間 7月9日～13日迄で
被害報告総数は 1,128 箇所。



関外目墨摺川左岸

7月13日(月)に 被害状況を見るために
建設課長の案内で町
内の被害が大きいと
ころを重点に回っ
た。町長も同行。

被害が多数出ている関川を上流から下流へと回った。

- 墨摺川左岸崩壊は、個人宅に迫るところまできていた。
- 関東の前原笛鹿付近の右岸崩壊、
- 古町の河川管理道右岸崩壊、
- 八重丸堰付近兩岸の崩壊、
- 名古屋県道荒尾南
関線歩道崩壊、
- 第1・第2庄寺橋
付近左岸崩壊、
- 草村・高久野通行
止などがあり、関
川付近は浸水被害
が多く発生してい
た。



関東前原笛鹿付近

町全体では、床上浸水35件、床下浸水4件であった。

- 琵琶瀬では、落合から上流500mまでの田畑が被害にあっていた。
- 宮尾地区では、民家の裏山が崩れ3日間地元消防団の協力により土砂撤去が行われた。
- 大原地区では、向原にある養鶏場が裏山の崩壊で出



八重丸堰付近

荷直前の 8,000 羽
の鶏が生き埋め状態
であった。

現在通行止めをして
いる町道は、

1. 迎町・津留線
(金丸から八重
丸橋の区間)

2. 笛鹿・南井弥原線
(大津山公園内道路頂
上付近から原吉勝宅付
近)
3. 田原・石尾線
(玉名市石貫側)
4. 久重・長山線
5. 大塔・山付線

被害報告総数 1,128 箇所
の内訳は、

- 公共災 (道路)
被害報告箇所数：118
内、災害採択箇所数：23
- 公共災 (河川)
被害報告箇所数：60
内、災害採択箇所数：18
- 農災 (農地/田・畑)
災害報告箇所数：509
内、災害採択箇所数：209
- 農災 (施設/農道・水路・ため池・橋梁)
被害報告箇所数：316
内、災害採択箇所数：123
- その他 (県道・県河川・宅地・山林等)
被害報告箇所数：125



宮尾民家への土砂災害



向原の養鶏場

採択されていない
箇所が493箇所あ
る。被害箇所40万
以下の場合には町から
の補助金 50,000
円が出るが被害復旧
にかかった残りの金
額は自己負担となる
ことから、493箇

所が全て復旧できるかは未知数である。

復旧されなければ、耕作地が減り荒地が増加して町の
基幹産業である農業に打撃を与える恐れがあると思
う。

今回は町からの補助金を増し、自己負担を軽減する
ことが重要ではないかと考える。

荒地が増えることで、有害鳥獣が(主にイノシシ)増
えると考えられるため、少しでも荒地を減らすことを
考えて頂きたい。



皆さんは「竹」から何を連想されるだろうか？私は、ぎおんさんで開催している南関そうめんの流しそうめん用の竹切り作業の大変さを思い出す。皆さんの中には、竹かごやしょうけ、大蛇山の山車、どんどや、たけのこ料理に思いを馳せた人もおられるだろう。



■竹産業の今

昔から竹は日本人にとって身近な資源であり、私たちの暮らしの役に立っていた。しかし近年は、竹製品がプラスチック製品に替わり、竹材やたけのこの輸入増加などにより、日本の竹産業は衰退の一途にある。南関町でもたけのこの出荷量は青果・加工用合計で5年前の45%までに減少している。生産者の高齢化が進み、生長した竹林を伐採する切子さんの不足、手入れ不足による荒廃竹林の増加の結果で、鳥獣被害拡大の一因ともなっている。この荒廃竹林の整備と山主不明竹林の解決は、竹産業が直面している大きな課題である。

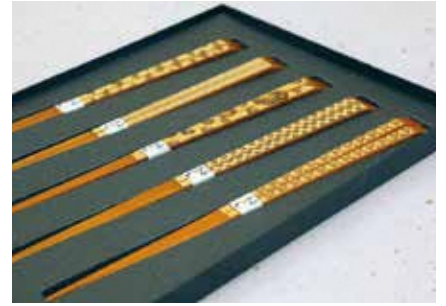
■多様な南関町の竹関連企業

南関町には、この課題に取り組みながら竹幹を利活用した企業があるので見てみたい。

1つ目が、バンブーフロンティア事業を推進している3社。「竹林整備～竹伐採・収集・一次加工」を行うバンブーフロンティア(株)と「残った竹幹や枝葉をバイオマスエネルギーに使い温水と電力を供給」するバンブーエナジー(株)と「開発・製造販売」を行うバンブーマテリアル(株)の3社が連携して竹を有効活用する取り組みを行なっている。



2つ目が創業半世紀を超える(株)ヤマチク。「竹の、箸だけ。」を生産し、天然素材だからこそ加工の難易度が高い中で、バリエーション豊富な形状や色、名入れなどオーダーメイドすることができ、一人一人の消費者に寄り添ったオリジナルの箸を生み出している。



3つ目が創業70年を超える高田商店。牡蠣養殖用いかだの竹幹取扱の専門店で、竹の切り出しは体力勝負の仕事と言われる中、年間1万本近くを広島・長崎に出荷されている。



4つ目が合同会社ちかけん。竹に穴を開けてあかりを灯す、竹あかりの演出制作を行なっており、日本のみならず海外でも活動している。現在南関町に拠点を移し、さらなる活躍を続けている。

このように、竹を資源とした事業展開している企業が集まっているのが南関町の注目すべき点である。

■竹の魅力を引き出し、持続可能な竹産業とするために

竹炭・竹酢液、乾燥竹、肥料、敷料など竹の持つ可能性は高い。荒廃竹林が整備されたら、散歩も食事もできる観光竹園化も期待できる。だが竹での事業は難しいという声も少なくない。だからこそ地域独自の産業としてどう支え成長させるのか。今こそ人の知恵と行動が必要である。小中学生皆さんのアイディア出しや町と連携したイベントの開催、竹切りだしへの公的支援などの施策が竹産業のみならず町の将来を占う鍵となるのではないだろうか。